

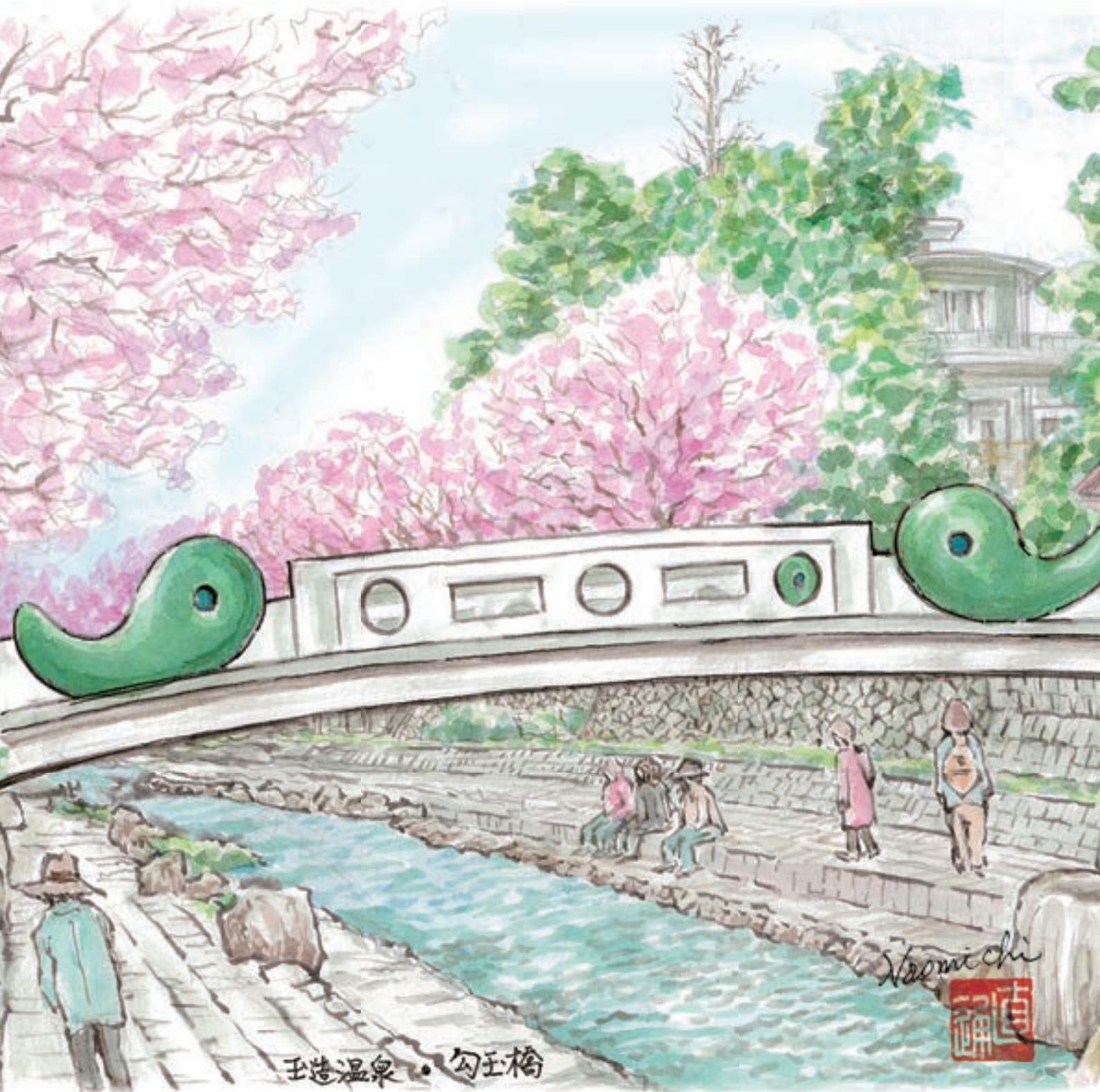
2019

4

April Vol.37

# JALしまねびより

◀ 今月の特集 ▶ 島根のいいもの再発見!! 「松江市 ハマボウフウ」 くまびき地区本部



玉造温泉・勾玉橋



島根には誇れる農産品がたくさん!

# 島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

## 松江市 ハマボウフウ

4月は、くにびき地区本部。松江市八束町で、ハマボウフウ（浜防風）の生産に取り組む「八束町はまぼうふう生産組合」の安部敏樹組合長ら組合員の皆さんにお話を伺ってきました。



組合の皆さんで切磋琢磨しながら、ここまでたどり着いたとのこと。とても仲の良い皆さんでした。

大根島（八束町）で農産物といえば朝鮮人参と牡丹が有名だと思えますが約40年前、新たな特産品を作ろうということになりました。朝鮮人参など薬草や漢方に使われるも

**ハマボウフウを生産する  
きっかけを教えてください。**



お話を伺った組合の皆さん

の栽培していたこともあり、当初は組合員で手分けし黄蓮（おうれん）、アマチャヅル、ハマボウフウの3つの漢方の原料となるものを試験栽培しました。その結果、生産に適したものがハマボウフウでした。ハマボウフウは根この部分が漢方として使われ栽培をはじめた当初は高価格で取引していましたが、徐々に中国からの輸入品が増え価格が低下。需要も少なくなつたことから生産をやめる地方もありました。江戸時代からハマボウフウは「八百屋ボウフウ」という名前で八百屋の店頭に高級食材として並んでいました。これをヒントに根この部分を販売するのではなく、芽を摘んで料亭や割烹等へ食材として売り込んでみようということになり、芽の部分の生産に切り替えて今日まで続いています。



以前はこの根この部分を中心に栽培／出荷。

ハマボウフウの根はゴボウのような長い根・根茎を地中に深くに伸ばします。まず砂地の畑に種をまいて1〜2年かけて根を成長させます。ある程度根が育ったら根ごと掘り起こしてハウスの中に定植。一定の深さを設けた砂地の箱の中に定植すると約1週間で芽が出はじめます。その芽が5〜7cmになったものを手で摘んで収穫します。規格は使う用途に合わせて3つあり、芽の大きさや茎の太さによって選別しパック詰めします。

**どのように栽培するのですか？**



大根島の砂地の畑が、ハマボウフウの栽培には非常に適している。







多い時で1日2,000本くらい収穫し25本を1パックとして週に2回出荷。米子市や松江市、出雲市の青果市場をはじめ大阪や広島、岡山県などに出荷しています。

### 苦労することや、こだわっていることなどありますか？

ハウスの中で芽が出はじると2、3日で倍くらい大きくなるので、基本的に毎日芽を摘まなければなりません。露地だと収穫できるのは春の少しの間だけです。ハウスを利用して通年で出荷できる体

制を整え、夏には地下水を鉄パイプに通して地中を冷やし、冬は保温シートをかけ温度調整しています。また病気や虫がつかないようにするための登録農薬がほとんどないため、試行錯誤を重ねて有機の限られたものを使用しています。生産をはじめた当初は葉の色が悪く、青っぽい色しか出ませんでした。温度や電照、肥培管理などたくさん試すことを試し、ようやく葉が綺麗な新緑色で茎は赤い、理想的な品質で栽培できるようになりました。



様々な工夫を繰り返し、良質で安定した生産に。その工夫を惜しみなく皆で共有するというのが、組合のスタイル。

### ハマボウフウはどのようにつけて食べるのが美味しいですか？

ハマボウフウの味はシャキシャキとした食感でほんのりとした苦味があり、風味深い香り口の中に広がります。小さくて若い芽は刺身のツマやお吸い物のお口取りなどに、大きくて大きいものはさつと霜ふりして白和えやゴマ和え、天ぷらなどにして食べると美味しいです。味と香りが扱い



ハマボウフウのさっぱりとした爽快感が楽しめ、クセになるような美味しいラーメンでした。



加工品も手がけ、様々な形でハマボウフウを食してもらう工夫も

やすい食材なのでピクルスにするもよし、炊き込みご飯に加えるなど和・洋・中問わず、幅広い料理にアレンジできます。実際、八束町のラーメン店ではハマボウフウをふんだんにトッピングした「防風ラーメン」があり、珍しいラーメンとして地元をはじめ噂を聞きつけた食通の方が足を運んでいます。また5月から6月にかけて白い花が一斉に付きます。その若い蕾と柔らかい茎・葉を天ぷらにして食べる非常に美味しいです。花芽は他の産地にはないこの地域限定の珍しい食材で、時期に

なるとJAの産直市や道の駅本庄、玉湯町の八百万マーケットなどで限定販売しています。是非一度、食べていただきたい一品です。

### 今後の抱負や展望を聞かせてください。

ハマボウフウは地元の市場に出荷しているものの、商店やスーパーマーケットには流通していません。大根島が産地であることを周辺地域の方々にはまだまだ知られていないと思います。まずは地元の方に八束町がハマボウフウの生産地であることを知っていただき、将来的には気軽に地元で食べることができ、身近な存在になればと思います。

## ハマボウフウ

### 一口メモ

ハマボウフウは、おもに全国の海岸に面した砂地に自生する多年草。かつては日本全国のどこにでも普通に見られたが、砂地の減少や食用・薬用として乱獲されたことにより、自生している場所が極めて少なくなっている。香り高い高級食材として旅館や料亭などで刺身のツマをはじめ旬の山菜として重宝されている。市場に流通しているものはほとんどが栽培もので生産地はわずか。埼玉や茨城、愛知県などで生産しており、中国地方では八束町がまとまった数を出荷している。同組合ではハマボウフウをもっと広く知ってもらおうとPR活動を継続的に実施。農林水産祭などのイベントにハマボウフウの天ぷらなどを出店、人気を博し、その味を求めて行列が並んでいる。



お話を伺った安部組合長。美味しいものを提供するため、努力と工夫をすることが楽しいと、その醍醐味をお話いただきました。



# くにびき地区本部 JAグリーンかわつ



産直へようこそ!!

可成り離れた地域の特産品「JAグリーンかわつ」は、島根県内の産直店舗を「紹介」します。



早朝に収穫された野菜は7時前から持ち込まれる

くにびき地区本部が運営する「JAグリーンかわつ」は、松江市街中心地より北東へ約4kmの郊外に立地し、周辺の住宅地に暮らす人々の食を支える存在として地元で愛されている。

近隣や、遠くは美保関から毎朝届く新鮮な農産物を求め、客足は絶えない。季節の旬の農産物はもちろん、津田カブ・秋鹿ゴボウといった地域の伝統野菜や、美保関から届く生ワカメなどバリエーション豊かな食材が並ぶ。この日も7時前から、早朝に収穫したばかりの野菜などが持ち込まれた。生産者の方々は「自分たちが育てた野菜がお客さんに喜んでもらえたらうれしい」と早朝にもかかわらずにこやかにその日の陳列作業を終える。

店頭では月に2回程度「試食イベント」を開催し、旬の食材を紹介するほか、定番野菜の新しい料理方法の提案などを行っている。地元の醤油店とコラボしたイベントも人気だ。清水雅樹店長は「生産者のため、ひとつでも多くの農産物を手に取ってもらえるようPRを工夫したい」と話す。

これからのおすすめはタケノコ。生産者がある日の朝に掘ってきたタケノコは、市場を經由しないため「新鮮さが全然ちがう」と毎年人気だ。出荷が始まると旬の商品として大々的に陳列する。そのほか、春を感じさせるフキやワラビなども店頭に並ぶ。

JAグリーンかわつでは、産直野菜のほか農産物加工品、花卉、農業資材、店頭精米などを扱っている。



「スーパーに無いものが手に入るのが産直の魅力」と話す清水店長



地元で生産される花卉も人気の商品 (写真はストック)



地元の養鶏場から烏骨鶏など珍しい種類の卵も陳列される

住所：島根県松江市西川津町659-1  
 営業時間：4～9月 8:30～18:30  
 10～3月 8:30～18:00  
 定休日：第1水曜日（4・5・7・10月は休まず営業）  
 年始・3月31日・6月30日・9月30日  
 TEL：0852-21-2373





# JA 自己改革 実践中

JAグループ島根

## JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

高松和範さんは、松江市東出雲町の中海干拓地で「くにびきキャベツ」を中心に約4haの規模で農業経営を行っています。

高松さんは、農家出身ではありませんが、JAと松江市が新規就農者の育成を目的に行っている「だんだん営農塾」に参加したことを契機に、地元の農業士のもとで2年間、現場経験を積み、平成27年3月に独立し新規就農されました。

平成30年度JAしまね農業振興支援事業によって導入した「乗用管理機」を有効に活用し、作業の効率化や省力化を図り、経営規模の拡大を目指した農業経営を展開されています。

高松さんからは「新規就農時の機械設備等の導入にあたって、本事業を活用できたことは経営の安定化を図るうえで非常にありがたかった」との声をいただきました。

今後は、若き農業のリーダーとして経営の法人化を目指し、地域農業の発展に貢献していきたいと熱い思いを語っていただきました。

### 松江市 高松 和範さん (33)



## 一所懸命 青年連盟



平成30年7月豪雨被害に対する要請

自己啓発を図る大会)や視察研修会の開催、JAしまねや島根県との意見交換会を実施しております。また、国会議員への要請活動も行っており、平成31年2月には中四国9県の青年組織として平成30年7月豪雨被害に対する要請書を自民党の野村農林部会長へ提出しております。

今後は、毎月このコーナーにて各地区本部JA青年連盟の活動を紹介します。JA青年連盟の活動にご理解とご協力をお願いいたします。また、加入を希望される方は島根県農協青年組織協議会事務局(山崎)【TEL:0853-25-8142】までご連絡ください。

### 島根県農協青年組織協議会とは

島根県農協青年組織協議会(平成30年度 会長 小村 伸治)は、農業青年の協同意識を高め、農業をよりどころとした豊かな地域社会を築くことを目的に設立されたJA青年連盟の県組織です。県内11地区本部のうち、10地区本部にJA青年連盟があり、720名の盟友で構成されています。

主な活動としては、JA青年大会(県内盟友が一堂に会し、個人・組織の発表を通じて、組織の活性化・



雲南

## 半世紀続く組合で若手ヘルパーが奮闘 奥出雲町酪農組合

島根県奥出雲地区の酪農家が集まり組織する奥出雲町酪農組合では、組合員の休日確保や労働時間の軽減、経営の継続などのため、奥出雲町にある高橋牧場で働く船津拓也さん（24）が唯一のヘルパーとして奮闘しています。

同組合は昭和35年に発足した横田町酪農振興会が前身で、昨年11月に60周年を迎えた歴史ある組合です。現在は8戸の酪農家が約160頭飼育しており、内4戸でヘルパー事業が利用されています。

船津さんは「通常業務とヘルパーの仕事の合わせると時間と体力的な面で、辞めたい時期もあったが、今はヘルパーに出るときにやりがいを感じる。自然豊かで人柄もいいこの地域で、できるかぎり続けていきたい」と意気込みを話しました。



牧草を寄せる船津さん

くにびき

## くにびき農業法人会定期総会を開催～総会後の研修では軽減税率を学ぶ～

くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は2月26日、なにわ一水で「第8回定期総会」を開催しました。

当日は、くにびき管内で組織する17法人の代表者など40名が出席。会の冒頭、岸本会長が「農業情勢は厳しいが、地域農業をより良いものにしていくために、使命感を持って日々活動していこう」と挨拶しました。

その後、農事組合法人林本郷の松浦久年代表理事を議長に選任し、今年度の活動報告や来年度の活動計画と収支計画など、上程された全議案が承認されました。

総会後には税理士資格を持つJA全中JA支援部営農担い手支援課の栗山賢明職員が「消費税軽減税率導入における課題と影響」と題し、軽減税率をめぐる課題やインボイス制度の導入について解説。栗山職員は「税制は変わっていくもの。どのような対策を早くとるかが重要」と参加者へ呼びかけました。

参加者は「いち早く情報を取り入れ、柔軟な対応をしていきたい」と話しました。



軽減税率について解説する栗山職員

隠岐

## 公用車へドライブレコーダーを設置

隠岐地区本部は、JA共済連島根県本部が実施している「JA共済地域・農業活性化施策助成制度」を利用し、平成31年3月より当地区本部で使用している公用車全台にドライブレコーダーを設置しました。地域で無くならない犯罪への抑止や交通事故防止に寄与し、また、犯罪や事故が発生した際には警察署等への情報提供をすることにより、迅速な解決が図れることを期待し設置することとしました。

今後とも、職場内で交通安全への啓発を図り、JA職員自ら飲酒運転の撲滅、交通ルールの遵守をして参ります。また、毎年実施している教育機関への反射タスキの贈呈や行政へのカーブミラーの贈呈などを通じて、犯罪や交通事故等が無い、暮らしやすい地域になるよう貢献して参ります。



やすぎ

## 春の彼岸花市開催

やすぎ地区本部は3月16日から3日間、管内にあるグリーンセンター（農産物直売所）2店舗となかうみ菜館で「彼岸花市」を開催しました。「彼岸花市」は毎年開催している一大イベントで、管内の農家が栽培した色鮮やかな花を中心に新鮮な野菜や果物なども豊富に揃え、連日大勢の買い物客で賑わいました。

各店舗では、定番である菊やしぶぎをはじめ、ストックやカーネーションなど多くの種類の花木が店先に並び、花を購入された女性は「春の花がたくさんあって、季節を感じていいですね」と話されました。





斐川

## 大看板で お米の消費拡大PR

斐川地区本部青年連盟は3月8日、米消費拡大をテーマにした大看板(縦2.7メートル、横1.8メートル)を作成しました。昨年の夏に町内の小学生を対象に募集した「農業絵画・ポスターコンクール」に応募された21作品の中から、青年連盟賞を受賞した中部小学校(当時3年生)の松原帆香さんの作品を基に、ベニヤ板3枚を繋ぎ合わせて下書きをし、ペンキで色をつけ忠実に再現しました。今回で17作品目となる大看板は、JAしまね斐川グリーンセンター駐車場入口に設置され、来店する消費者へ訴えかけています。青年連盟の古川敬委員長は「1年間外に設置するので、雨風に倒れないよう補強もしっかり行った。看板を見てもらうことで、一人でも多くの方が斐川町産の米の消費拡大に関心を持ってもらえる」と期待を込めました。



隠岐  
どうぜん

## 産直部会が視察研修

3月13日から15日にかけて「隠岐どうぜん地区本部産直部会先進地視察研修」を行いました。出雲地区本部では、本店販売戦略室の須山室長からラピタ本店農産物直売所の取組み、売れ筋商品、コンパニオンプランツ、商品の包装の仕方などを学んだ後、ラピタ本店農産物直売所を視察し、実際に商品を観て触れて、規格・鮮度・包装等を確認しました。雲南地区本部では高橋指導員から、春まき野菜の栽培講習会で種まきから収穫までの各ポイントの指導を受けました。やすぎ地区本部の「なかのみ菜彩館」では稲田店長、山根課長から直売所の今までの取組みや今後の課題を学び、直売所で新鮮な野菜、果物などを実際に購入しました。当産直部会も、新鮮で安全な野菜を提供できるよう、栽培履歴書の記入、適正な農薬・肥料の使用を守り、より多くの商品を組合員・地域住民の皆様提供できるよう頑張ります。



石見銀山

## JA女子大学、 「菜根館」卒業式

石見銀山地区本部が開講するJA女子大学シニア講座「菜根館」は、3月6日と8日に地区本部で「卒業式」を開きました。

卒業式では、卒業証書が手渡され、全講座に出席した受講者には皆勤賞が贈られました。

山崎辰次本部長は「今後も地域のリーダーとして活躍頂くとともに、JAの事業に対し協力をお願いしたい」と話しました。

卒業式終了後、JAしまね石見銀山女性部農産加工所旬彩工房「きれんげ」から2名の講師を迎え、大田市の伝統料理「箱寿司」と「うどん豆腐」の作り方を学びました。



菜根館卒業式での集合写真

出雲

## 「准組合員の集い」管内8会場で開催 四絡支店はジャンボ巻き寿司で交流

JAしまね四絡支店は3月17日、四絡コミュニティセンターで准組合員を対象とした交流会「准組合員の集い」を開きました。親子での参加も含め、約30人が参加。JAの事業や地域貢献への取り組みを紹介するDVDを上映したほか、交流イベントとしてフィットネスフラダンス教室とジャンボ巻き寿司作りを行いました。

JAを取り巻く環境、JA自己改革への取り組みについて話した出雲地区本部の福島隆理事は「環境が変化中、JAもチャレンジ、改革をしていかなければならない。ご理解、ご協力をお願いします」と呼びかけました。

「准組合員の集い」は、JAが「地域農業の応援団」と位置付ける准組合員の皆さまへの情報発信と意見交換を目的に昨年からは開催しています。今年は3月10～28日にかけて管内8会場で開きました。



完成したジャンボ巻き寿司を掲げる参加者ら



## 西いわみ

### JAしまね西いわみ女性部が春のおやつサービスを実施しました

JAしまね西いわみ女性部（部長和田悦子）は3月6日から20日までの間、益田市、津和野町、吉賀町の福祉施設へおやつを届けるサービスを行いました。このサービスは地域貢献活動の一環として毎年春と秋に実施しており、今年が23回目です。

春を感じさせるおやつとして選んだ「さくらもち」を、地域ごとの調理場で手作りし、同サービスを希望する管内の福祉施設37箇所に合計1,600個を届けました。

おやつを受け取った施設関係者の一人は「利用者の皆さんも楽しみにしていたおやつを届けていただけてうれしい」と喜びました。

JAしまね西いわみ女性部では、今後もこのサービスを続けていく予定です。



## 島根 おおち

### 矢上高校へ繁殖和牛贈呈

島根おおち地区本部は、邑南町、島根県西部農林振興センター、島根県立矢上高等学校の4者により、地域を担う畜産人の育成と地域振興を目的に、「石見和牛プロジェクト」を創設し、その一環として矢上高校へ繁殖和牛を贈呈しました。3月18日には邑南町役場で4者による調印式が行われ、続いて矢上高校第2農場にて繁殖和牛の贈呈式を行いました。贈呈式では、日高本部長より10月に分娩予定の黒毛和牛の雌牛「みつひら号」（4才）が古居校長へ贈られ、古居校長が「島根県を代表する血統の繁殖和牛を寄贈いただいたことにより、一段と実習に力が入ります。より高い知識と技術の習得を目指し、地域の畜産振興に少しでも役立ちたい」と感謝の意を述べられたほか、生徒を代表して産業技術科2年生の寺本進太郎さんが挨拶し、これからの実習に期待を込めました。日高本部長は「産業技術科を持つ矢上高校とJAの結びつきを深めるために何かないかと、今回の繁殖和牛の贈呈に至りました。多くの方が畜産関係担い手への道を進まれることを望みます」と地域の活性化および管内農業振興への願いを込めました。矢上高校は、2022年に鹿児島県で開催される全国共進会への出品を目指します。



## 本店

### 国宝松江城リレーマラソン JAブース盛況！

3月24日に松江城で開催された「第1回国宝松江城リレーマラソン」へJAブースを出店し、島根県産のイチゴ、はと麦茶、干し柿を販売しました。

初開催となった今大会には、県内外から1,000人を超えるランナーがエントリー。仲間うちや家族でチームを組み、松江城敷地内の特設コースをタスキをつなぎながら25周（総距離約42km）を走り抜けました。

スタートの前後はあいにくの雨模様でしたが、天気も回復し日差しが差し込むと、メイン会場に設置したJAブースには多くのランナーや応援の方々がお越しになりました。待機中のランナーへの差し入れとして、また大会終了後はお土産として島根県の特産品が大活躍(?)したようです。

大会の開催にあたり、上位賞をはじめ各賞への副賞として、JAしまねより「島根県産つや姫160kg」を提供しています。ブースと併せて島根県の特産品をPRすることができました。



## いわみ 中央

### 職員が国民体育大会に出場しました

いわみ中央地区本部の伊藤職員が、国民体育大会冬季大会「イランカラプテくしろさっぽろ国体」に出場しました。1972年の札幌オリンピックの会場にもなった札幌市にあるテニスキュー場で行われ、伊藤職員はアルペンスキー、ジャイアントスラローム競技の成年男子A（19歳以上26歳以下）に出場し、予選を勝ち上がった全国の選手たちと競い合いました。急な斜面で雪面も固いアイスバーンという難しいコースでしたが、無事完走しました。伊藤職員は「とてもいい経験ができ、たくさんの応援・支援本当にありがとうございました。成績は昨年より少し良かったのですが、いい結果とは言えないので引き続き練習していきます。来年も本戦出場できるよう頑張ります！」と来年に向け意気込みを話しました。

恵まれた環境とは言えない中での健闘する伊藤職員を、地区本部はこれからも応援していきます。





## タテのカギ

- ① プロではありません
- ③ アグネス・チャンのデビュー曲は『——の花』
- ⑦ 掘端などでゆらゆらと枝を揺らす木
- ⑧ ラッコやカワウソはこの仲間
- ⑨ 3月はマーチ、4月はエイプリル。5月は？
- ⑩ 歩き過ぎると棒になるかも
- ⑬ 定年——を迎え、第二の人生をスタートさせた
- ⑮ 土地を売買するときの値段
- ⑯ 液体から固体をこし取ること
- ⑰ 大さじの1/3の容量です
- ⑱ 晩ご飯のことです
- ⑲ 農協、取説、メアド、合コンなど
- ⑳ ——は金なり

## ヨコのカギ

- ① カキツバタやハナショウブに似た花が咲きます
- ② 包丁の刃を受け止めます
- ④ 他人には教えないでね
- ⑤ 歯のある履物
- ⑥ うどんや牛丼に掛ける調味料
- ⑩ ボールを使った曲芸がうまい海獣
- ⑫ 漢字では無花果と書く果物
- ⑬ 素人ではありません
- ⑭ はたきで取り除く物
- ⑰ 大地真央や天海祐希は宝塚——団の元トップスター
- ⑲ これごと食べられる豆もあります

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	9		14	18	21
2			11		19	
			12	15		
3		10				
4	8				20	
5			13	16		22
6				17		

答え 

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

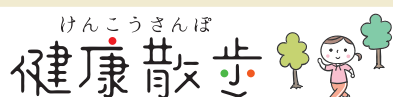
## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1  
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
2019年5月7日（火）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「モクレン」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



## 五月病を予防しよう

JA島根厚生連

4月になり、新年度が始まりました。環境が変わって頑張ろうと思っている方も、ゴールデンウィークを過ぎてひと段落する頃から「なんとなくやる気がでない」「気分が落ち込む」など、「五月病」の症状が出る場合があります。新年度の環境の変化とそれに伴う仕事の忙しさ、そしてこれから迎える大型連休で、心も体もその変化についていけず、誰にでも五月病が発症する可能性があります。特に今年のゴールデンウィークは10連休ということで騒がれています。例年と違う5月を迎える前に、その予防方法をおさえておきましょう。

### ○ストレスを溜めないようにする。

新年度になると、環境や人間関係が変化します。そこで、人は無意識のうちに適応するための努力をしています。「無意識に」少しずつ体や心に負荷がかかっている可能性があるため、「おかしいな…」と感じれば早めにストレスを解消するようにしましょう。悩みを友人や家族に話す、趣味やスポーツに打ち込むなどの方法で気分転換をしながらストレスを解消していきましょう。



### ○ゴールデンウィークの過ごし方（休日の過ごし方）に気をつける。

休日になると、夜更かしをしたり、朝遅い時間まで寝てしまったりと、生活リズムが変わってしまう方も多いかと思えます。しかし、生活リズムの乱れは心身ともに様々な不調をきたします。もちろんリラックスして過ごすことは大切ですが、生活リズムは崩さないよう心がけてみましょう。

春は変化の多い時期です。しかし、忙しいことだけでなく、楽しいこともたくさんあります。心身ともに健康に過ごすために、今のうちから少しずつ意識して過ごしてみられるとよいかもしれません。





# 平成30年度地区別座談会

質問・意見

回答要旨

## 営農経済部門

問

消費税増税で、出荷する野菜は軽減税率の8%、肥料・農薬等に掛かる経費は10%となる。実質農家負担となる差額の2%分についてJAしまねとして考えがあるのか。

答

ここで消費税についての議論は出来ませんが、JA自己改革の目標である「農業者の所得増大」のために、銘柄集約等による資材価格引き下げについて、引続いてJAしまねとしてしっかり取り組んでいきます。

問

第2次農業戦略基本構想の園芸重点推進5品目を積極的に取り組みたいが、共販でJAが買い取る等の販売先を準備してほしい。また部会に入っていないと指導や補助金等

の各種情報が得られない状況もある。その点についての改善検討を願う。

答

重点推進5品目については、資料に記載のとおり栽培面積、販売金額の目標を掲げて生産拡大に取り組んでいる作物で、JAしまねとして少しでも農業者の所得増大につながるように販売先についても十分な検討を重ねて取り組んでいきます。



問

先日お店に行ったがわさびの商品がなかった。原料がなく商品がないのか、それとも売れないので置いていないのか。わさび加工場の状況を教えて欲しい。

答

原料が不足しているのが現状なので、生産者にはどんどん出荷をお願いします。

## 金融部門

問

マイナス金利の長期化で信用・共済事業の今後の収益は低下すると思うが、今後の信用事業の見込みはどうか。

答

農林中央金庫からの貯金奨励金の減少が影響し、平成30年度決算見込値と比較した場合、JAしまねで7億9千2百万円、内、西いわみ地区本部で8千2百万円の事業総



利益の減少が予測されています。次期3カ年計画において、単年度事業管理費の2・6%（約5千万円）の削減を本店から指示されており、達成する為には職員配置を変えてでも収益を確保しなければならぬと考えています。

**問** 支店に地元出身の職員が少ないので、配慮して配置をお願いしたい。

**答** 金融に携わる職員は同じ支店に最長5年となっていることを了承願う。引継をしっかりと行い、組合員の皆様に迷惑をかけないように努めます。

## 共済部門

**問** 他社では終身の医療共済があるがJAには無いのか。

**答** JAにも終身の医療共済がある。後日JAを訪問させるので、是非加入をお願いいたします。

## 企画総務部門

**問** 准組合員から正組合員になるうとする場合には、出資の差額を払うのか。

**答** 一口1,000円なので払わなくても良い。なお条件に合致すれば正組合員とされます。

**問** 座談会への参加数が少ないのはさみしい。組合員自身がJAに興味が無いのだろうか。

**答** 今後集客についても検討していきたいし、もっとJAに興味を持ってもらえるよう自己改革を行っていきます。

**問** JA合併により農家とJAが離れていく感じがあるので、半期に一度くらい話を持つ機会を設けて頂きたい。

**答** 支店ごとに開催できないか検討します。

**問** 准組合員の利用制限をされた場合どうなるのか。

**答** 利用制限がかかれば実際にはどれだけの収入減となるかまでの試算は行っていないませんが、事業的に厳しい状況となるのは明らかで、正組合員へのフォローが少なくなってしまう。

**問** アンケート内容については中身が弱く、JAが地域になくならないことを答えてもらえるような質問にすれば良かったのではないかと。

**答** 職員が組合員宅に訪問し直接意見を吸い上げる

意味合いもある。そのような意見も地区本部が改革に生かして行きたいので、率直にアンケートに回答して下さい。







## 道の駅なごみの里産直市リニューアル

津和野町鷺原の道の駅「津和野温泉なごみの里」は施設内の産直市などがある売場を増床する改装を行い、3月1日にリニューアルオープンしました。

産直市売場の充実で、同町を訪れる観光客への津和野産農産物の宣伝効果や集客、地元利用者への利便性を高めました。

陳列棚を従来の約2倍に増やしたほか、新たに冷蔵・冷凍品を取り扱うショーケースを設け、より多くの加工品紹介ができるようになりました。

産直市売場は町内で野菜や加工品を生産、出荷する「つわの野菜生産部会」（部会長 永田寿秋）が、年間を通して旬の野菜や農産加工品などを持ち寄っています。

永田寿秋部会長は「津和野にお越しの際には立ち寄っていただき、津和野産農産物を味わってほしい」と話しました。

オープンを盛り上げようと、2日には炭火で焼いた牛肉を手作りパンで包んだビーフサンドの実演販売。3日にはタラの芽やコゴミ等山菜の天ぷらの実演販売を行いました。



## J A 共済が中学校に夜光反射材を寄贈

J A 共済連島根と（一財）県農協共済福祉事業団、J A しまねは平成31年春に入学する中学生に、登下校時の交通安全に役立ててもらおうと、県内の中学校に夜光反射材を寄贈しています。

中学校生活で

は、夕暮れ時や交通混雑時に登下校する機会が増え、交通事故に遭遇する危険性が高まることから、身に付ける「夜光反射タスキ」と自転車に付ける「自転車用夜光反射テープ」を用意しました。

3月19日には、益田市立高津中学校で贈呈式を行い、同校青木桂一校長にJ A しまね西いわみ地区本部中島重秋副本部長が「生徒の皆さんの交通安全に役立てて下さい」と述べ、目録と趣意書を手渡しました。

受け取った青木校長は「生徒らの交通安全のため、有効に使わせていただきたい」とお礼を述べました。

J A 共済連島根と福祉事業団、J A では、この取り組みを平成2年から毎年実施していて、今春は県内中学校96校へ「タスキ」と「テープ」合わせて8,956個を寄贈します。







委員らは、U・Iターナー者に対する就農時の助成や農業生産資材や施設への助成、新規就農者への技術指導の要望や次世代対策などを訴え、関係者らに理解を求めました。

下森町長は、同町東京事務所の営業努力で東京での販路が拡大しつつあることを挙げ「町内の生産余力をみながら販路拡大を図りたい」とあいさつしました。



津和野町の農業生産部会や団体などを委員とする津和野町農政会議（京村真光会長）は2月26日、津和野町枕瀬のJA日原経済センターで津和野町農業問題研究集会を開きました。

集会には津和野町下森博之町長をはじめ、県西部農林振興センター石倉秀樹農政部長、JAしまね西いわみ地区本部田村清己本部長ら関係者と農政会議委員合計40名が、平成30年12月に提出した要請書の回答内容や生産現場などで生じた問題や課題について活発な意見を交わしました。

### 津和野町農林業問題研究集会開催



講師の西氏は、島根県西部地区の繁殖成績が良好であることや、脂肪の質やサシと呼ばれる脂肪交雑の形状の改良を進めていくことが必要であることなどを講演しました。

西いわみ和牛改良組合が、平成29年の繁殖間隔が全国平均409.8日を上回る376.3日を達成し全国3位の成績を収めたことが報告され、9年連続となる表彰が行われました。



石西地域農林振興協議会と浜田地方農林業振興協議会は2月27日、益田市須子町の益田市人権センターで平成30年度の西部地区肉用牛振興大会を開きました。

県西部家畜市場管内の江津市、浜田市と益田市、津和野町、吉賀町の肉用牛飼養農家や関係機関ら60名が出席した大会では、公益社団法人全国和牛登録協会情報解析課技術職員西和隆氏の講演とJAや関係機関からの情報提供がありました。

### 平成30年度西部地区肉用牛振興大会開催



## わくわくつわの協同組合 通常総会開催

わくわくつわの協同組合（理事長糸賀盛人）は3月4日、津和野町鷲原の道の駅「津和野温泉なごみの里」で第10回となる定期総会を開き、平成31年度事業に7つの目標を掲げ活動する事を確認しました。

組合員の経営安定支援などやU・イターナー者の定住促進の取り組み、無人ヘリやWCS事業の安定経営と、平成30年に実施した小中学校への地元産米提供の継続や高校との校外学習の協力や、省力農機として除草剤散布用ホバークラフトやトラクター用ハンマーモア草刈機の導入を検討します。

組合員の健康管理活動にも触れ、人間ドックを受診することを盛り込みました。

来賓に招いた農林水産省中国四国農政局次長志知雄一氏による平成31年度重点施策の説明があり、先端技術の活用によるスマート農業、輸出促進、農福連携への支援策が示されました。



同組合糸賀理事長はあいさつで「我々が今いる立場、今まで来た流れの中、政界の流れ、世界の流れを見ながら自分の立ち位置はどこにあるかと言う事を踏まえ地域を引っ張っていかないといけない」と説きました。

## 西条柿部会出荷反省会開催



J Aしまね西いわみ西条柿部会は3月5日、益田市中西田町J A中吉田出張所で平成30年産出荷反省会を開き、今年産の課題や次年度産の対策を話し合いました。

反省会では、J Aしまね本店担当者から平成30年産は着色遅れにより10月上旬中旬の出荷数量が増えなかったことや、11月中旬以降に落葉が早まり、果実の軟化が多発し、厳しい販売となった事が報告されました。

西いわみ西条柿部会の生果の総出荷数量は約69トン、販売金額は約2,353万円。前年対比は数量81%、販売金額131%でした。

同部会では、前年が豊作で数量増の単価安であったため今年産との差が大きいとしながらも、単価が1kgあたり300円を大きく超えたことを喜びました。

関係機関から平成31年産の対策として、着色遅れ対策として白マルチ等の反射シート敷設が提案されたほか、カメムシ発生が多いと予想し、その対策を講じる必要があることが伝えられました。

## 西いわみ施設野菜振興会 総会開催

J Aしまね西いわみ地区本部管内の益田市、津和野町、吉賀町で施設野菜栽培を手がける生産部会やJ A、関係機関で構成する組織「西いわみ施設野菜振興会」（会長田原清）は3月19日、益田市飯田町の飯田構造改善センターで第18回の通常総会を開きました。

当日は平成30年産出荷品目別に収量や品質、販売金額などで優秀な成績を収めた生産者を表彰したほか、メロンやトマト栽培試験研究の結果報告がありました。

平成31年度も高品質、収量増に向けた品目別の栽培研修会の実施や有望品種の導入試験栽培研究を計画します。

来賓の県西部農林振興センター益田普及部岡敏明課長は「各生産部会で、産地ビジョンの策定やGAPに積極的に取り組んでほしい」とあいさつしました。



総会終了後は収入保険制度の説明やICT技術の導入事例の発表がありました。





## 女性部ケイトウ栽培グループが講習会を開催

J Aしまね西いわみ女性部ケイトウ栽培グループは3月13日、J A中吉田出張所で平成31年産ケイトウの栽培講習会を開きました。

栽培を手がける管内の女性部員ら14名が出席した講習会では、県西部農林振興センター益田事務所とJ A地区本部営農経済部から職員を招き、今年産栽培の注意点や要領を教わりました。

昨年は生育の乱れがあったことから、播種時期の変更を検討するほか、土壌診断の実施や病害虫防除の徹底を呼びかけました。今後は圃場巡回や講習会を開く予定です。



## 春のおやつサービスを実施しました



「おやつサービス」を続けています。

23回目を数える今回は、同サービスを希望する益田市、津和野町、吉賀町の福祉施設に、サクラの葉で餡入りもちを包んだ「さくらもち」合計1,600個を贈りました。

地元産モチ米を使った「さくらもち」は、同部員らが地域ごとに分かれて各調理場でおやつを作り施設関係者に言葉を添えて手渡します。

3月6日、7日、19日、20日の4日間で37施設を訪問し、おやつを届けました。受け取った施設関係者からは「利用者さんも楽しみにしていた。大変うれしい」と喜びました。

同女性部では今後も同サービスを続けていく予定です。

J Aしまね西いわみ女性部（部長和田悦子）は地域貢献活動の一環として毎年春と秋の2回、季節を感じる手作りのおやつを福祉施設に届け

## J A女性部がミニデイサービスを実施

J Aしまね西いわみ女性部は3月、美都町と柿木村でミニデイサービスを開きました。

3月1日に美都町山料公民館で開いたミニデイサービスでは30名の参加があり、四文字熟語当てゲームや身体を使ったゲームで楽しめました。

3月15日は柿木基幹集落センターで24名が参加したミニデイサービスを開きました。六日市から講師を招き、レクリエーションで楽しいひと時を過ごしました。

女性部では、今後も各地域でミニデイサービスを実施し、地域の皆さんの交流の場を提供していきます。



# 西いわみ地区本部の自己改革の取組み

## メモリアルセンターでは終活セミナーを開催します。

JAしまね西いわみ地区本部メモリアルセンターでは、4月から5月にかけて、JA西いわみ管内3カ所で終活セミナーを実施します。

終活セミナーでは、よりよい人生の終わりを迎えるにあたり、自分や家族のこと、親戚や仲間のこと、健康状態や介護のこと、そして葬儀や相続のことについて備えるための方法や心構えなどを勉強します。

メモリアルセンターでは、今後もJA地区本部各支店と協力して終活セミナーを開催していく計画です。詳しいことはメモリアルセンター0856-31-7080へお問い合わせください。

これからも自己改革実現のため皆様方からいただいたご意見を、できることから確実に実施してまいります。



### 5月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

西いわみ地区本部金融共済部金融課  
年金相談センター (0856-22-8680) は、  
平日 (8:45～17:00) いつでも  
ご相談いただけます。

#### 5月の年金相談会

16日(木)	益田東支店	午後3時～午後7時	JA年金相談員
23日(木)	高津支店	午後3時～午後7時	JA年金相談員

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

- お題「平成」
- 平成の 次世代に生まれる 孫をまつ (益田市 大谷 恭子さん)
  - 一人ごと 昭和平成 時代すぎ (益田市 石山タマヨさん)
  - 平成は よにんの孫は 社会人 (益田市 大久保菊江さん)
  - 過ぎたのね 平成の世は 束の間に (益田市 喜村 信江さん)
  - 平成さん 色々あったね お疲れ様 (益田市 岡崎千代子さん)
  - 行く平成 来るは安紀か文徳か (益田市 豊田 昭彦さん)
  - 平成と 書く回数も あとすこし (益田市 柳井 文江さん)
  - 平成の 素晴らしき時代に 別れ告げ (益田市 加藤 富之さん)
  - 売出し 平成最後の 声高し (益田市 宮川 香さん)
  - 平成の 思い出多きを 大切に (益田市 藤井キヨコさん)
  - 平成や 時代が替わる 我が国土 (津和野町 古山 包子さん)
  - 平成さん 30年間 ご苦労さん (津和野町 大井 守さん)
  - 平成は 終り終りと 耳にタコ (津和野町 水津シノブさん)
  - 平成で 子育て介護 次老後 (津和野町 勝間 竹代さん)
  - 九十七歳 元気でまとう 次の世を (津和野町 裾坂庄之進さん)
  - もう来ない さよなら平成 涙落つ (津和野町 大羽ミヤ子さん)
  - 平成は 災多く 過ぎ行きぬ (吉賀町 田口美智子さん)
  - 平成の 野菜出荷も 後僅か (吉賀町 渡辺サツ子さん)

お題「平成」



6月のお題は「ホタル」です  
ご応募お待ちしております



# にしいわみひろば

川柳 応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和元年5月10日 (当日消印有効)  
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課





# JAしまね西いわみ 旅行センターより お知らせ



JAしまね西いわみ旅行センターでは、農協観光の各種募集商品のご案内やJR・私鉄の指定席、乗車券や航空券の手配などを取り扱っております。

2月21日と22日には、恒例のふれあい旅行を催しました。管内年金受給者の皆さんに岡山市の日本三大稲荷の一つ「最上稲成神社」への参拝と古都奈良の文化財観光を楽しんでいただきました。

旅行センターでは、皆様方に思い出深い旅のお手伝いができるよう、一枚の切符からご用意いたします。どうぞお気軽にお申し付けください。



## 1枚のキップからお申し込みください

### 各種取り扱い商品

- JR(指定席、乗車券) ■私鉄(指定席、乗車券)
- 航空券 ■宿泊券(契約業者) ■食事券(契約業者)
- 施設入場券(契約業者) ■旅行保険
- 航空パック商品(航空券とホテルがセットになったもの)
- JRパック商品(東京1名以上、関西2名以上で申し込み)
- 航空券(海外、海外パック商品)

- 農協観光取り扱いの各種募集商品など  
(おさいふカードのポイントが付与)  
※寿ロード、ふれあい旅行には付与されません

### JAで年金を受給されている方、 受取予約をされている方対象商品

- 大根島由志園 優待券
- 奥出雲玉峰山荘 宿泊優待券
- 足立美術館 優待券

### JAの組合員、共済加入者の方対象商品

- 玉造ホテル玉泉 利用割引券  
※対象者がグループ内でお一人いればOKです

JA旅行センターは JAしまね西いわみ地区本部1階です

☎ 0856-22-8587 FAX0856-22-8679 (担当者: 中村 福原)



# 終活セミナー に参加しませんか？

**会場** JAしまね西いわみ地区本部 3階会議室  
益田市駅前町15-1 TEL:0856-22-1589

**開催日** 令和元年**5/15**(水) 午前10:00~12:00

**定員** 20名 **参加料** 無料



ご参加の方に  
1冊プレゼント

## 家族に残す私の宝物

「人生100歳時代」  
健康である事、  
素晴らしい余生を  
楽しむ方法。

最愛の家族に  
伝え残したい  
心と財産。



あなたの心を  
正しく伝える方法と  
法的な手続きを  
考えます。

お申込・  
お問い合わせは

思い出つくる私のところに  
**JALしまね西いわみメモリアルセンター** 益田市遠田町967-1  
**TEL:0856-31-7080 FAX:0856-31-7081**  
JAしまね益田中央支店 益田市駅前町15-1 TEL:0856-24-1870 FAX:0856-31-0276



毎日の暮らしをいきいきさせる いま読みたい記事がいっぱい！  
**食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン**



デザインを一新して、さらに読みやすく使いやすくなりました



毎月3大特集



手芸

&

健康



年6回別冊付録が  
付きます

JA自己改革や協同の  
たいせつさを伝える記事も  
わかりやすく！  
全国の地域情報も掲載

食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン



誌代(税込)	2019年11月号まで	2019年12月号より
普通月号	617円	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	906円	922円
家計簿付き12月号	1,008円	1,027円

※消費税率変更にと  
もない、2019年  
12月号より定価を  
改定します。



お申し込みはお近くの本・支店(所)へ JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL.03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>





## JAふれあい福祉センターにじヶ丘からのお知らせ

### 受講者募集

**介護の勉強がしたい方!!  
資格をとりたい方必見!**

**受講料はJAが負担**

**介護職員初任者研修** (旧ヘルパー2級)  
受講希望者を募集します。

募集定員：3名程度 (多数の場合は、面談の上選考します)

JAでは、資格取得のための受講費用をご負担いたします。H31年度に益田市内で開催される講座に通っていただきます。但し、終了後はJAしまねふれあい福祉センターで働いて頂ける方に限ります。

※対象は、介護職員初任者研修のみです。

テキスト代は自己負担願います。

受講期間：半年程度

応募締切：定員になり次第

●お問合せ

JAしまね西いわみ地区本部  
ふれあい福祉センターにじヶ丘  
**0856-32-0620**



### JAにじヶ丘で

**一緒に働きませんか。**

### 職員募集中!!

**介護職員**  
(正社員・パート)  
**ヘルパー**  
(パート)

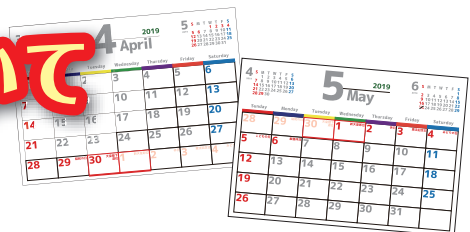


JAしまね西いわみ地区本部  
ふれあい福祉センターにじヶ丘  
**0856-32-0620** 担当：こさか さた  
小坂 佐田

地域や自宅を結ぶ「にじのかけ橋」  
JAにじヶ丘の想いです。

## 店舗から連休中の対応について

4月27日～5月6日までの10連休対応について  
下記のとおりご案内いたします。



	益田 グリーンセンター	グリーン ひまわり	グリーン しろやま	六日市 グリーンセンター	ラーバン (美都)
4月27日(土)					○ (通常営業)
28日(日)					休業
29日(月)					休業
30日(火)					○ 9:00～17:00
5月1日(水)	<b>休まず営業いたします。</b>				○ 9:00～17:00
2日(木)					○ 9:00～17:00
3日(金)					休業
4日(土)					休業
5日(日)					休業
6日(月)					休業



## 水稲



**適正な播種量と植付本数で品質向上を目指しましょう！**

### ●健苗育成のポイントとは播種量

米づくりは苗半作といわれ、苗の良し悪しによって収量・品質は大きく左右されます。良質米生産のためには、まず健康な苗をつくることから始まります。そのためには、播種量は乾籾で120g/箱の薄まきとし、茎が太く腰のすわったがっしりした苗をつくりましょう。

### ●田植えのポイントとは植付本数！

今年もいよいよ本格的に田植えがスタートする時期となりました。近年は乳白粒による品質低下が大きな問題となっております。その原因の一つが、過剰な生育による過繁茂です。そこで次の点に注意して田植えを行ってください。

#### ① 一株の植付け本数は3〜5本にしましょう！

一株の植付け本数が多いと、田植えをした後の見栄えは良いのですが、その後は過剰分げつとなって乳白粒が発生しやすくなります。

\*乳白粒対策として

●出穂期を遅らせる：遅植えにより出穂を遅くして登熟期の気温を下げる

●水田や稲体を冷やす：かけ流し灌がいや夜間入水などの水管理がある

#### ② 植付間隔は条間30cm・株間18cm（坪60株）にしましょう！

一株の植付け本数を3〜5本とした場合、植付け間隔が広くなりすぎると収量が低下する場合がありますので適正な栽植密度を心掛けましょう。

#### ③ 植付け深さに注意しましょう！

極端な深植えをすると活着が遅れ、分げつが抑制されます。また、株が広がらずに筒状の姿となり、紋枯病などの病害虫に弱く、倒伏しやすくなります。また、極端な浅植えは除草剤の薬害を受けやすくなりますので、植付け深さは3cm程度の深さとしましょう。

## 畜産



### 3月の子牛市場

3月12日(火)に雌頭、去勢頭、計頭の上場により、今年度最後の西部家畜市場が開設されました。上場牛についてはバラツキも少なかったことから、底を上げた印象でしたが普段よりも購買者が少なかったことなどから平均価格で雌619千円(前回比98%)、去勢791千円(前回比99%)、計729千円(前回比99%)と前回の市場よりやや下げたものの、ほぼ横ばいで推移しました。今後も購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼いや方マニュアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

なお、次回の市場開設日は5月14日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に事故(疾病)等無いよう宜しくお願い致します。

3月西部子牛市場成績(税込み)

(単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市 (益田)	雌	29	784,080	313,200	651,985	288
	去勢	42	913,680	272,160	797,631	314
	計	71			738,142	304
益田市 (美都)	雌	2	675,000	594,000	634,500	285
	去勢	5	804,600	750,600	779,760	311
	計	7			738,257	303
益田市 (匹見)	雌	0				
	去勢	2	763,560	718,200	740,880	299
	計	2			740,880	299
津和野町 (津和野)	雌	2	683,640	516,240	599,940	292
	去勢	2	821,880	791,640	806,760	327
	計	4			703,350	310
津和野町 (日原)	雌	8	761,400	356,400	542,025	288
	去勢	9	830,520	714,960	782,880	316
	計	17			669,536	303
吉賀町 (柿木)	雌	1	348,840		348,840	214
	去勢	2	776,520	768,960	772,740	312
	計	3			631,440	279
吉賀町 (六日市)	雌	0				
	去勢	1	708,480		708,480	277
	計	1			708,480	277
西部市場 総合計	雌	43	784,080	313,200	619,593	287
	去勢	75	913,680	272,160	791,741	277
	計	118			729,009	282





西いわみ地区本部からのおしらせ



JALまね X メガネの三城

# 巡回サービス メガネ・補聴器



【ご自宅訪問ご希望の方へ】

日時を調整の上、ご自宅まで訪問も致します。  
まずはお近くのJA窓口へご相談下さいませ。

☆お急ぎのお問い合わせはこちらの携帯電話へどうぞ。

**090-6955-1612**

メガネの三城 移動型店舗店長 狩野 昭弘

こんにちは。『メガネの三城』移動型店舗店長の狩野と申します。  
『タナカ』さんに代わり、みなさまの町のJA各支店へお伺いさせていただいております。  
メガネ、補聴器の調整、ご相談などがございましたらお気軽にお立ち寄りくださいませ。  
JAでお求めの方はもちろん、他店のものでも大歓迎です。

～ 無料で出来ること、お役に立てることがたくさんあります。～

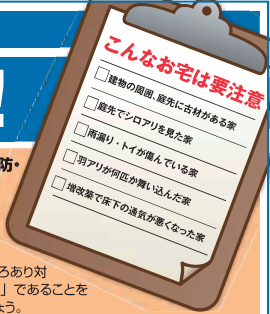
5月の巡回日程		水	木	金	土	日
		1 大安 天皇の即位の日	2 赤口 国民の休日	3 先勝 憲法記念日	4 友引 みどりの日	5 仏滅 こどもの日
6 大安 振替休日	7 赤口	8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安
13 赤口	14 先勝	15 友引	16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口
ラーバン 9時～14時	日原経済C 9時～14時	匹見支店 9時～14時	六日市支店 9時～13時	柿木経済 9時～13時		
20 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝
27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口		
ラーバン 9時～14時	日原経済C 9時～14時	匹見支店 9時～14時	柿木経済 9時～13時	津和野経済 9時～13時		

経済課より

## シロアリ警報!5月は羽アリが多発!!



**シロアリの予防・駆除は確かな実績と安心のJAへご相談下さい。**  
シロアリ防除は「(公社)日本しろあり対策協会登録企業」であることを必ず確認しましょう。  
JAのシロアリ予防・駆除は安心です。毎年莫大な量の木材が、シロアリや木材腐朽菌によって失われております。JAとして、組合員の皆様の住まいの耐用年数を延ばし、住まいを守る天災対策として、シロアリおよび腐朽被害対策を行っております。  
環境に適合した薬を使用  
(公社)日本しろあり対策協会が効力・安全性の審査に合格した認定薬剤を使用しています。  
資格者(プロ)による施工  
(公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にとりしりろあり防除施工士が施工しています。



取扱業者 **株式会社 コタマサイエンス** JA全農基本契約業者「株児玉商會」特約施工店  
(公社) 日本しろあり対策協会正会員 会員番号 島根県 002 会員番号 鳥取県 002 (本社) 〒690-0048 島根県松江市西塚島 2丁目 8-23  
**■益田営業所 TEL0856-22-5390**  
■各営業所/松江・江津・隠岐・鳥取・倉吉・米子・広島 http://www.kodama-s.co.jp/

### 床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コタマサイエンスの地区担当が訪問しますので、よろしくお願い致します。



お問い合わせ先 益田市中吉田町 1001-1 **JAしまね 西いわみ地区本部 経済課 TEL:23-0914**

# 新鮮な味がたくさん取れる サヤエンドウ

## あなたもチャレンジ! 家庭菜園

板木技術士事務所 ● 板木利隆

栽培管理が楽で失敗も少ないサヤエンドウ。店頭では得られない新鮮さが魅力。家庭菜園にはぜひ取り入れた野菜です。

カロテン含有量が多く、分類は緑黄色野菜。ビタミンC、食物繊維も豊富。使い道はサラダや汁の実、煮物にと広く、飽きずに重宝します。

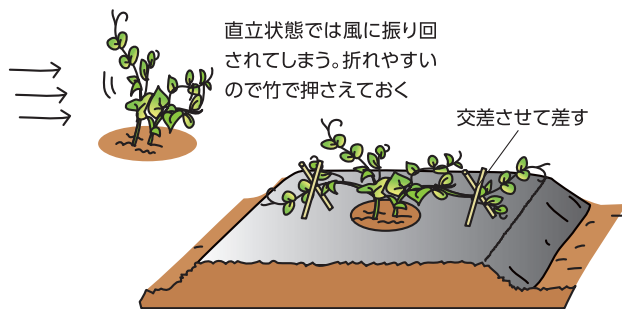
育て方のポイントを列挙すると次の通りです。

- (1) 連作畑を避ける
- (2) まきどきを誤らない
- (3) 冬に株が風で振り回されるのを防ぐ
- (4) 伸び出したつるがよく絡み付くようしっかりした支柱を立てる

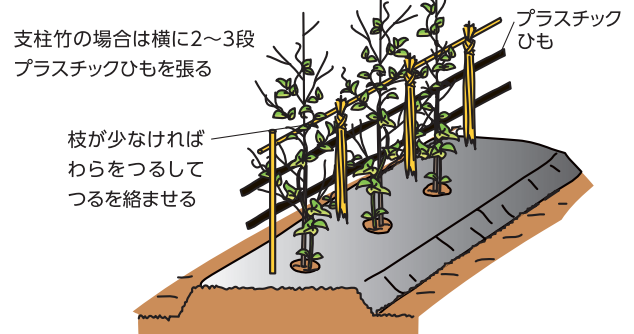
サヤエンドウは野菜の中でも特に連作を嫌う性質があります。4~5年はエンドウを作ったことのない畑を選びます。

種まきの適期は10月20日前後を目安とします。寒い地域で早まきすると、大きく育ってから厳しい寒さに遭うことになるため、寒害を受けやすくなります。種袋の説明と地域の慣行をよく調べて決めます。

サヤエンドウは茎葉が柔らかく、越冬中に株が風に振り回され、茎が折れたり枯死したりしやすいので、草丈が15~20cmに伸びたら短い支柱を交差させて立て、株を固定したり、畝に沿って稲わらを半折りにし下方を土に埋め、簡易の風よけを作ったり、べた掛け資材で覆ったりして寒風から守ってやります。



生育盛期の姿



越冬後草丈が20~25cmぐらいになる頃には巻きひげも出るので早めに支柱を立て、これに絡ませるよう、つるを誘引してやりましょう。

支柱材としては、細枝がたくさんつくササや、小枝がよく付いた木の枝が最適ですが、入手できない場合は木くいに横竹を渡し、所々に細わらをつるす方法、それらがなければ果菜用の支柱材を立て、横に3段ほどプラスチックひもを渡したり、キュウリの誘引ネット（網目15cm）を取り付けるなど、いろいろ工夫してみましょう。

肥料分は多くは必要ないので、前作に野菜を育てた畑なら、越冬前に畝に沿って軽く溝を作り、1株当たり化成肥料大さじ2杯ぐらい、本支柱を立てた後に、畝の反対側に同量を施し、土を盛り上げて畝を形作る程度で足りるでしょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

## 理事会情報 (2月27日開催)

### 【協議事項】

- ① J A しまね 農業振興支援事業要項・平成31年度要領の設定について
- ② 大口貸出金の承認について
- ③ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ④ 平成30年度 J A 全国監査機構決算監査期中改善指示書に対する回答について
- ⑤ リスク管理基本方針の一部改正について
- ⑥ 会計監査人候補者の決定および今後のスケジュールについて
- ⑦ 信用事業の事業譲渡・代理店方式について

- ⑧ 農林中央金庫への後配出資増資の引受けについて
- ⑨ 平成30年度3月末決算見込みについて
- ⑩ 平成31年3月本店機構改革に伴う職制規程の改正について
- ⑪ 平成31年4月1日付け機構改革の実施について
- ⑫ ワークフローシステム導入による稟議書の電子決裁化について
- ⑬ 平成31年度地域貢献・地域活性化支援事業について
- ⑭ 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- ⑮ 内部監査規程の一部改正について
- ⑯ 平成31年度内部監査計画について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)



# おさいふカードのポイント付与基準 変更のお知らせ



2019年4月1日より、下記のとおり付与基準が変更となりました。  
今後とも、おさいふカードをご利用いただきますようお願い申し上げます。

## 追加事項

- 農青連にご加入された方 ……………新規加入で付与
- 国債をお取引された方 ……………残高に応じ付与
- 投資信託をお取引された方 ……………取得価額に応じ付与
- 農業者・女性部健診を受診された方 ……………受診で付与



部門	付与対象	付与の サイクル	付与の タイミング	付与単位	付与ポイント	
					組合員	組合員外
農青連加入	新規加入	年1回	2月末	1盟友	300	200
国債	2月末残高	年1回	3月末	10万円	5	2.5
投資信託	2月末保有分の取得価額					
農業者・女性部健診	受診	随時	翌々月末	1回	70	70

2019年3月31日で、ラピタ来店ポイントを終了させていただきます。長年のご利用誠にありがとうございました。  
なお、お買物でのポイント付与やポイントを使用してお支払いについては、引き続き、ご利用いただけます。

## 「定期性貯金期日のご案内」 発送終了のお知らせ

平素はJALしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、このたび当JALでは、定期性貯金のお取引をいただいているお客さまに発送しております下記のご案内状につきまして、誠に勝手ながら、2019年10月31日作成分をもちまして、発送を終了させていただきます。

ご案内状でお知らせしている満期日などにつきましては、お手元の通帳、証書などでご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

今後もお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 【発送を終了するご案内状 〈定期性貯金期日のご案内〉】

- 対象商品** 定期貯金、積立式定期貯金、譲渡性貯金
- 内容** 満期日、中間利払日などのご契約内容
- 作成時期** 原則として満期日、中間利払日の2か月前の月末



※発送を継続する先

- 法人・団体のお客さま
- 課税区分がマル優の口座をお持ちのお客さま

©ちよリス

### 手まりずし



#### ●材料 (約30個分)

##### 酢飯

- 炊きたてのご飯…… (2合分)
- 米酢…………… 大さじ4と1/2
- 砂糖…………… 大さじ3
- 塩…………… 小さじ1と1/2

##### 具材

- マグロ、タイ、サーモン (刺し身用)…… 各3切れずつ
- エビ (生食用) …… 3匹
- イカ (刺し身用) …… 適量
- キュウリの薄切り…… 15枚
- 錦糸卵…………… 卵1/2個分
- 魚肉ソーセージ、大葉、イクラ、塩ゆでグリーンピース …… 各適量



#### ●作り方

- ①酢飯を作る。小鍋に米酢、砂糖、塩を入れて火にかけ、沸騰直前で火を止める。ご飯に入れて混ぜ合わせる
- ②①を約20gずつラップにのせて軽く丸める
- ③別のラップを用意して、寿司ネタ、酢飯の順にのせてもう一度包みなおして形を整える。
- ④作った手まりずしを器に盛り、イクラやグリーンピース、残った錦糸卵で飾りつける

簡単にできるのに豪華に見えます。お祝いなどに作ってみてください。寿司ネタは好みでいろいろ楽しんでみてください。生ハム、ローストビーフなどでもOK、ラップでごはんを強く握るとごはんが固くなるので軽くまるめましょう。

### たけのこの中華スープ



#### ●材料 (4人分)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| うずらの卵…………… 8個    | 塩…………… 少々          |
| 水煮したたけのこ……… 1/4本 | しょうゆ…………… 小さじ1と1/2 |
| 塩わかめ…………… 15g    | 酒…………… 大さじ1        |
| 鶏もも肉…………… 1/3枚   | こしょう…………… 少々       |
| 水…………… 600cc     | ごま油…………… 小さじ1      |
| ガラスープ…………… 小さじ2  |                    |

#### ●作り方

- ①たけのこはうすいくし形に切る
- ②塩わかめは洗い塩を落とし一口大に切る
- ③鶏もも肉は1cm角に切る
- ④水にガラスープを入れ火にかける
- ⑤煮立ったらたけのこ、鶏肉を入れる
- ⑥鶏肉に火がとおったらうずらの卵、わかめを入れる
- ⑦しょうゆ、酒、塩、こしょうを入れる
- ⑧ごま油を入れる



たけのこのシャキシャキ食感がおいしい中華スープです。旬の相性のいいわかめを入れています。鶏肉のコクとうずらの卵の甘味が口の中で広がる、あっさり味のスープです。

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は玉造温泉街にある勾玉橋と桜です。玉湯川沿いには温泉街から下流にかけてたくさんの桜が植えられ、春のお花見シーズンには大勢の見物客でにぎわいます。周辺には足湯やカフェなど人気のスポットも多く、桜鑑賞とあわせて散策が楽しめます。

### 編集後記

今月号から新しい企画の掲載が始まります。島根の青年農業者の様々な取り組みを紹介する「一所懸命 青年連盟」。旬の農産物や地域の特産品に出会える、島根県内の産直店舗を紹介する「産直へようこそ!」。年度も変わり、リニューアルした「JALしまねびより」をどうぞご覧ください。(和)

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

